

「ペトロ、死人を生き返らす」

2016年05月07日

使徒言行録9章36節～43節。ヤッファにタビタ——訳して言えばドルカス、すなわち「かもしか」——と呼ばれる婦人の弟子がいた。彼女はたくさんの善い行いや施しをしていた。ところが、そのころ病気になるって死んだので、人々は遺体を清めて階上の部屋に安置した。リダはヤッファに近かったので、弟子たちはペトロがリダにいると聞いて、二人の人を送り、「急いでわたしたちのところへ来てください」と頼んだ。ペトロはそこをたって、その二人と一緒に出かけた。人々はペトロが到着すると、階上の部屋に案内した。やもめたちは皆そばに寄って来て、泣きながら、ドルカスが一緒にいたときに作ってくれた数々の下着や上着を見せた。ペトロが皆を外に出し、ひざまずいて祈り、遺体に向かって、「タビタ、起きなさい」と言うと、彼女は目を開き、ペトロを見て起き上がった。ペトロは彼女に手を貸して立たせた。そして、聖なる者たちとやもめたちを呼び、生き返ったタビタを見せた。このことはヤッファ中に知れ渡り、多くの人が主を信じた。ペトロはしばらくの間、ヤッファで革なめし職人のシモンという人の家に滞在した。

リダの町から18kmほど離れた地中海に面したヤッファという町があった。この町に、ヘブライ名でタビタ、ギリシア名でドルカス（かもしか）と呼ばれる女性の弟子がいた。彼女は信仰篤く、善い行いをし、貧しい者たちに施しをしていた。ところが、病気になるって亡くなったので、人々は悲しみ、遺体を清め、階上の部屋に安置した。この時、ペトロがリダに来ていると聞いて、信徒たちは二人の人を送り「急いでわたしたちのところに来てください」と頼んだ。ペトロは二人と一緒にヤッファに向かった。到着するとタビタの遺体が安置された階上の部屋に案内された。やもめたちが傍に寄って来て、泣きながら、彼女からもらった数々の下着や上着を見せながら、いかに親切であったかを話した。ペトロは皆を外に出し、ひざまずいて祈った。そして、遺体に向かって「タビタ、起きなさい」と言った。すると、彼女は目を開き、ペトロを見て起き上がったので、手を貸して立たせた。そして、悲しむ信徒とやもめたちを呼び、生き返ったタビタを見せた。死人を生き返らせたペトロによる奇跡を目の前にし、周りは大きな喜びで包まれた。このことはヤッファ中に知れ渡り、多くの人が主イエスを信じた。ペトロはしばらくの間、ヤッファで革なめし職人のシモンという人の家に滞在した。革なめしは最も汚れた職業とされていた。次の10章の汚れた者とされていたローマの百人隊長コルネリウス物語に結びついていく。

ペトロによる蘇生物語は、ルカ福音書7章と8章に記された、死人を生き返らせた主イエスの奇跡と類似している。7章には、あるやもめの一人息子が死んで、棺で担ぎ出される時、主イエスは憐れに思い「若者よ、あなたに言う。起きなさい」と言うと、死人は起き上がったものを言い始めた奇跡が記されている。8章には、会堂長ヤイロの一人娘が亡くなったが、主イエスが「娘よ、起きなさい」と呼びかけると、娘は起き上がった奇跡が記されている。これらの奇跡は、主イエスは悲しむ人に寄り添い、死人を生かす神の子の権能を持っていることを証言している。使徒言行録は、ペトロにも同じ権能が与えられていることを伝えている。古代においては、仮死状態からの蘇生はよくあったことである。しかし、聖書は死人を生き返らせる神の全能を表そうとしている。神の全能が「生きているとは名ばかりで、実は死んでいる（ヨハネ黙示録3章1章b）」状態から生き返らせてくださる奇跡が私にも及んでいると確認することが信仰である。